

令和7年度 商業科「簿記」シラバス

単位数	4単位	学科・学年・学級	情報処理 科 1年C組
教科書	新簿記（実教出版）	副教材等	最新段階式 簿記検定問題集3級

1 学習の到達目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を身に付ける。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4 5 6 7	第1編 簿記の基礎 第2編 取引の記帳（その1）	第1章 簿記の基礎 第2章 資産・負債・純資産と貸借対照表 第3章 収益・費用と損益計算書 第4章 取引と勘定 第5章 仕訳と転記 第6章 仕訳帳と総勘定元帳 第7章 試算表 中間検査 第8章 精算表 第9章 決算 第10章 現金・預金などの取引 期末検査	・簿記の意味・目的を明らかにして、記帳の重要性を理解する。 ・簿記の種類、前提条件など簿記のアウトラインを理解し、簿記の学習の心がまえを養う。 ・資産・負債・純資産（資本）の意味を明らかにし、これらの相互関係を理解する。 ・収益・費用の意味を明らかにし、純損益を計算する方法（損益法）を理解する。 ・取引により、資産・負債・資本が増減することを理解する。 ・仕訳の意味を明らかにし、各種の取引の仕訳ができる。 ・仕訳帳の形式・記入法を理解し、記帳することができる。 ・試算表の役割・種類・それぞれの特徴などを明らかにし、その作り方を学習する。 ・精算表の役割を明らかにして、その作り方を学習する。 ・決算の意味・必要性・重要性について理解する。 ・決算手続き全体の流れを理解し、その記帳ができる。（英米式決算法） ・現金に関する記帳方法と現金出納帳の記帳方法について理解する。 ・現金過不足の処理法を理解する。	簿記の基礎について理解できたか。定期検査、小テスト、観察や学習の振り返りで確認する。 簿記の取引や記帳について理解できたか。定期検査、小テスト、観察や学習の振り返りで確認する。 検査得点 検査得点
9 10 11 12	第2編 取引の記帳（その1） 第3編 決算（その1）	第11章 商品売買の取引 第12章 掛け取引 第13章 手形の取引 第14章 その他の債権・債務の取引 中間検査 第15章 固定資産の取引 第16章 個人企業の資本の取引	・分記法の復習から3分法による商品売買の記帳方法を理解する。 ・仕入帳・売上帳・商品有高帳の役割と記帳方法を明らかにし、その記帳ができる。 ・掛け取引の意味を明らかにし、売掛金勘定と買掛金勘定の記帳方法を理解する。 ・人名勘定の意味を理解する。 ・手形の種類を理解する。 ・売掛金・買掛金・受取手形・支払手形以外の各種の債権・債務について、その記帳方法や違いなどを理解する。 ・固定資産の意味と種類を明らかにし、固定資産に関する記帳方法を理解する。 ・個人企業における資本の元入れ、引き出	簿記の3文法について理解できたか。定期検査、小テスト、観察や学習の振り返りで確認する。 簿記の決算について理解できたか。定期検査、小テスト、観察や学習の振り返りで確認する。 検査得点

		第 17 章 販売費と一般管理費、税金の取引 第 18 章 決算整理（その 1） 第 19 章 8 桁精算表 第 20 章 帳簿決算 期末考查	しなどの記帳方法を理解する。 ・販売費及び一般管理費の意味と記帳方法を理解する。 ・個人企業に課せられる税金と消費税の記帳方法を理解する。 ・決算整理の意味とその必要性を理解する。 ・3 分法による商品売買に関する勘定の整理、貸し倒れの見積もり、減価償却の処理法を理解し、その記帳ができる。 ・8 桁精算表の意味を理解し、その作成ができる。 ・帳簿決算の意味とその必要性を理解する。 ・総勘定元帳の締め切りと、繰越試算表・貸借対照表・損益計算書の作成ができる。	
1 2 3	第 4 編 会計帳簿と帳簿組織 第 5 編 取引の記帳（その 2）	第 22 章 伝票の利用 第 24 章 特殊な手形の取引 第 25 章 有価証券の取引 第 26 章 本支店会計 期末考查	・3 伝票を用いた場合の起票や集計方法のルールを理解する。 ・手形の裏書譲渡・割引・書き換え・不渡りの意味を理解し、その記帳方法を身に付ける。 ・営業外受取手形と営業外支払手形の意味を理解し、その記帳方法を身に付ける。 ・有価証券の意味と計算のしかた、買い入れたとき、売却したときの記帳方法を理解する。 ・支店会計の独立の意味を理解する。	簿記の 3 伝票や手形、本支店について理解できたか。定期考查、小テスト、観察や学習の振り返りで確認する。 考查得点

3 評価の観点

知識・技術	簿記に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、その仕組みについて学習するとともに、適正な会計処理を行う技術を身につけている。
思考・判断・表現	適正な会計処理を行うことを目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに、ビジネスの諸活動に携わるものとして、適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。
主体的に学習に取り組む態度	簿記について関心を持ち、適正な会計処理を行うことをめざして主体的に取り組む、会計処理を行う実践的な態度を身につけている。

4 評価の方法

「知識・技術」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から評価規準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

授業を大切にすること。課題や宿題などの提出物は期日を守り提出すること。